

WebプログラミングⅡ

写真共有アプリのMAP

9回目

山崎 大助

D.Yamazaki

前回課題

課題：画像 & 位置情報登録テーブルを作成する

DB名: **map_db** (新しくDBファイルを作成)

Table名: map_tables (新しいDBファイルに作成)

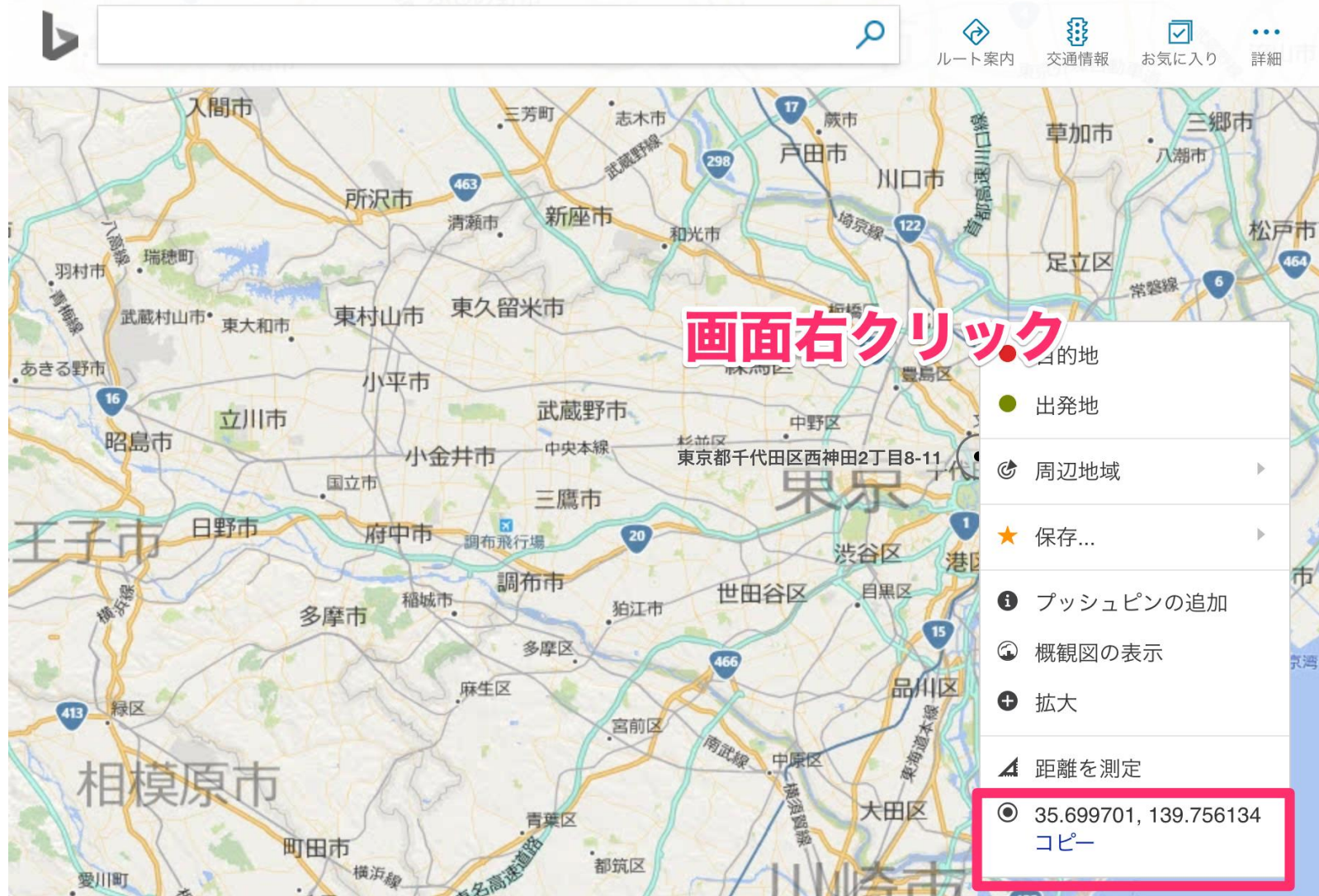
Field名:

id:	int(12)	<u>主キー</u> <u>AUTO INCREMENT</u>
name:	var_char(64)	--地名
lat :	double(8,6)	--緯度: 例90~2桁
lon:	double(9,6)	--経度: 例180~3桁
img :	var_char(255)	--画像
input_date:	datetime	--登録日

◇データもINSERT文で10件いれておいてください (map_tablesへ)

・ 京都 (銀閣寺、金閣寺、南禅寺、嵐山、東寺) など好きな10箇所

補足:座標取得方法→BingMapsサイトを開く



提出はありませんが、次回の授業で使うデータなので
無いと、ついてこれなくなるので、やっておくように！！

本日の授業内容

データ登録

入力画面から登録処理

～ index.html, fileup.php～

動画を見ながらコードを打ってください！！

9回目動画一覧

1.DB作成	https://youtu.be/XeaWeXQAOew	6:22
2.作成開始	https://youtu.be/d6zwXbTJIIQ	6:10
3.Geolocation(完成してから見たほうが良いかも)	https://www.youtube.com/watch?v=KHhTsCCw-Vo	18:52
4.送信画面の作成	https://youtu.be/hbcmi4eaJd8	9:55
5.POSTを受け取ってDBに登録(課題)	https://youtu.be/x_rhS3E7oC8	18:41

Geolocation補足資料

(本来、JavaScriptを使った緯度経度の取得方法)

geolocationとは

◇ geolocation

位置情報を取得することができるAPIです。

geolocationがサポートされているブラウザであれば、デバイス関係なしで使うことが可能です。

座標位置からMAPと連携や、ピンポイント天気予報の作成、
ローカルニュースなど位置情報からサービスを広げることも可能です

サポート状況の確認

<http://caniuse.com/#feat=geolocation>
can i use サイトはHTML5/JavaScriptAPIのブラウザ対応を確認するサイト

geolocationとは

◇ 位置を取得

位置を取得する方法が2つあります。

1. 現在位置を一度だけ取得

```
navigator.geolocation.getCurrentPosition( 成功関数, 失敗関数, option変数 );
```

2. デバイス位置が変わるたびに随時実行 (watchPositionは停止用のidを返します)

```
let watchID= navigator.geolocation.watchPosition( 成功関数, 失敗関数, option変数 );
```

//取得停止(定期的に取得する「 watchPosition 」を停止する方法)

```
navigator.geolocation.clearWatch(watchID); //watchIDを渡して停止！
```

◇ 位置を取得後～

「座標取得」成功時には成功関数へ「 **position** 」オブジェクトを渡します。

取得内容は[次ページ](#)です。

geolocationとは

◇ コードの流れ

```
//位置情報を取得する処理 //getCurrentPosition :or: watchPosition
navigator.geolocation.getCurrentPosition(mapsInit, mapsError, set);
```

```
//位置情報の取得に成功した時の処理
```

```
function mapsInit(position) {
  //lat=緯度、lon=経度 を取得
  const lat = position.coords.latitude;
  const lon = position.coords.longitude;
  $("#map").html("緯度"+lat+", "+"経度"+lon);
}
```

```
//位置情報の取得に失敗した場合の処理
```

```
function mapsError(error) {
  ....
}
```

◇ 位置を取得後～

「座標取得」成功時には成功関数へ「[position](#)」オブジェクトを渡します。
取得内容は[次ページ](#)です。

geolocationとは

◇ positionプロパティ

位置取得が成功すると以下プロパティを取得できます。

プロパティ	説明
position.coords	緯度経度などの情報
position.timestamp	位置を取得した時刻

◇ 位置を取得

position.coords で取得した経度緯度の情報について

プロパティ	説明
position.coords .latitude	緯度
position.coords .longitude	経度
position.coords .altitude	高度
position.coords .accuracy	正確性
position.coords .altitudeAccuracy	高度の正確性
position.coords .heading	方位
position.coords .speed	速度

geolocationとは

- ◇ optionの指定
3つめの引数では関数を実行する時のオプションを指定します※指定しなくても可能

プロパティ	説明
enableHighAccuracy	より高い正確性を求める(取得時間が遅くなる) <small>SEP</small> スマホではGPSを利用する(バッテリー消費が早い)
timeout	タイムアウトまでの時間(ミリ秒で設定, 1000=1秒)
maximumAge	位置情報の有効期限(ミリ秒で設定, 1000=1秒) 0を設定すると、毎回新しい位置情報を得る

- ◇ 座標取得失敗
失敗時には「error」オブジェクトを渡します
取得内容は以下の通りです。

プロパティ	説明
error.code	エラーコード(数値) 1.位置情報の取得が許可されていない 2.位置情報の取得が利用できない 3.タイムアウト
error.message	エラーメッセージ